

目次

本書に寄せて	v
はじめに	vii
1章 イン트로ダクション	1
1.1 本書を読むのに必要な知識	2
1.2 脚注について	2
1.3 練習問題について	3
1.4 Perlのインストラクターの方へ	3
2章 大規模なプログラムの作成	5
2.1 共通するコードの処方	5
2.2 evalによるコードの挿入	7
2.3 doの利用	8
2.4 requireの利用	10
2.5 requireと@INC	11
2.6 名前空間の衝突	14
2.7 パッケージによる名前空間の設定	16
2.8 packageディレクティブのスコープ	18
2.9 パッケージ変数とレキシカル変数	19
2.10 練習問題	19

3章 リファレンスの基礎	21
3.1 多数の配列に同じ処理を行う	21
3.2 配列のリファレンスの取得	23
3.3 配列リファレンスのデリファレンス	25
3.4 中かっこの省略	26
3.5 配列の修正	27
3.6 ネストされたデータ構造	28
3.7 階層化されているリファレンスを矢印で表す	30
3.8 ハッシュのリファレンス	32
3.9 練習問題	35
4章 リファレンスとスコープ	37
4.1 特定データの複数のリファレンス	37
4.2 無名配列	39
4.3 リファレンスカウントと階層データ構造	40
4.4 リファレンスカウントにエラーが発生する場合	42
4.5 無名配列を直接作成する	44
4.6 無名ハッシュの作成	47
4.7 自動生成	50
4.8 自動生成とハッシュ	53
4.9 練習問題	55
5章 複雑なデータ構造の操作	57
5.1 デバッガを使用して複雑なデータ構造を解析する	57
5.2 Data::Dumperを使用して複雑なデータを表示する	63
5.3 Storableで複雑なデータを保存する	65
5.4 map演算子とgrep演算子	67
5.5 mapの使用方法	69
5.6 間接参照の適用	71

5.7	複雑なデータの選択と変更	73
5.8	練習問題	75
6章	サブルーチンのリファレンス	77
6.1	名前付きサブルーチンのリファレンス	77
6.2	無名サブルーチン	83
6.3	コールバック	85
6.4	クロージャ	86
6.5	サブルーチンからサブルーチンを返す	88
6.6	入力としてのクロージャ変数	91
6.7	静的ローカル変数としてのクロージャ変数	92
6.8	練習問題	94
7章	リファレンスの実用的な使用方法	97
7.1	ソートの概要	97
7.2	インデクス値によるソート	99
7.3	効率的なソート	100
7.4	シュワルツ変換	102
7.5	再帰的に定義されたデータ	103
7.6	再帰的に定義されたデータの作成	104
7.7	再帰的に定義されたデータの出力	107
7.8	練習問題	108
8章	オブジェクトの基礎	111
8.1	もしも動物と話ができたら	112
8.2	メソッド呼び出しの矢印を取り入れる	113
8.3	メソッド呼び出しの特別なパラメータ	114
8.4	2番目のメソッドを呼び出して簡略化する	115
8.5	@ISAに関する注意書き	117

8.6	メソッドのオーバーライド	118
8.7	別の場所から検索を開始する	120
8.8	SUPERを使用する方法	121
8.9	@_の使用法	122
8.10	ここまでにかかったこと	122
8.11	練習問題	123
9	章 オブジェクトとデータ	125
9.1	馬は馬、もちろん当たり前だが、本当だろうか	125
9.2	インスタンスメソッドを呼び出す	126
9.3	インスタンスデータへのアクセス	127
9.4	馬を作り出す方法	128
9.5	コンストラクタの継承	129
9.6	メソッドをクラスとインスタンスの両方で動作するようにする	130
9.7	パラメータをメソッドに追加する	131
9.8	もっと興味深いインスタンス	132
9.9	色の異なる馬	133
9.10	預けたものを取り戻す	134
9.11	箱の中身を見てはいけない	136
9.12	取得側と設定側をより速くする	137
9.13	設定側にもなる取得側	137
9.14	メソッドをクラス専用またはインスタンス専用に制限する	138
9.15	練習問題	139
10	章 オブジェクトの破棄	141
10.1	ネストされた破棄	143
10.2	死に馬にむちを打つ	147
10.3	間接的なオブジェクトの表記法	148
10.4	サブクラスで追加するインスタンス変数	150
10.5	クラス変数を使用する	152

10.6	引数を弱める	153
10.7	練習問題	156
11 章	オブジェクトの高度な使用方法	157
11.1	UNIVERSALメソッド	157
11.2	オブジェクトの振る舞いをテストする	158
11.3	最後の手段としての AUTOLOAD	160
11.4	アクセサに AUTOLOAD を使用する	161
11.5	取得側と設定側をもっと簡単に作成する	162
11.6	多重継承	164
11.7	ファイルハンドルに対するリファレンス	165
11.8	練習問題	168
12 章	モジュールの使用方法	171
12.1	関数指向型インタフェースのモジュール：File::Basename	171
12.2	インポートするサブルーチンを選択する	172
12.3	オブジェクト指向型インタフェースのモジュール：File::Spec	173
12.4	標準的なオブジェクト指向型モジュール：Math::BigInt	174
12.5	オブジェクト指向モジュールと非オブジェクト指向モジュールの違い	175
12.6	useは何をするか	175
12.7	適切な時点でパスを設定する	177
12.8	Exporterによるインポート	179
12.9	@EXPORTと@EXPORT_OK	180
12.10	オブジェクト指向モジュールでのエクスポート	182
12.11	カスタムインポートルーチン	184
12.12	練習問題	185
13 章	ディストリビューションの作成	187
13.1	h2xs ツール	188

13.2	テンプレートの中身を見る	189
13.3	プロトタイプモジュール	192
13.4	埋め込みドキュメント	195
13.5	Makefile.PLでディストリビューションをコントロールする	199
13.6	インストール場所の変更 (PREFIX=...)	200
13.7	make test	201
13.8	make install	203
13.9	make dist	204
13.10	ライブラリのある場所を指定する	204
13.11	練習問題	206
 14章 テスト		207
14.1	テストハーネスは何を行うか	209
14.2	Test::Simpleモジュールを使用してテストを記述する	211
14.3	Test::Moreモジュールを使用してテストを記述する	212
14.4	条件付きテスト	217
14.5	複雑なテスト (複数のテストスクリプト)	218
14.6	STDOUT、STDERRに書き込みを行うプログラムのテスト	219
14.7	練習問題	219
 15章 CPANへの登録		221
15.1	Comprehensive Perl Archive Network	221
15.2	準備	222
15.3	ディストリビューションの作成	223
15.4	ディストリビューションのアップロード	224
15.5	モジュールのアナウンス	225
15.6	複数のプラットフォームでのテスト	225
15.7	Perlコミュニティでの発言、話し合い	226
15.8	練習問題	226

付録 練習問題の解答	227
2章の練習問題の解答	227
3章の練習問題の解答	229
4章の練習問題の解答	230
5章の練習問題の解答	233
6章の練習問題の解答	234
7章の練習問題の解答	235
8章の練習問題の解答	237
9章の練習問題の解答	241
10章の練習問題の解答	242
11章の練習問題の解答	244
12章の練習問題の解答	245
13章から15章までの練習問題の解答	245
索引	247